

6月9日(日)、10日(月)に日光へ修学旅行に行ってきました。1日目は、雨が降る予報でしたが午後には雨もやみ、予定していた行程を無事に行うことができました。バスレクで盛り上がる子どもたちを乗せたバスは、小杉放菴美術館に到着しました。学芸員さんの説明を聞きながら、様々な角度から描いた風景画のすばらしさに触れることができました。

再びバスに乗り、いろは坂をくねくね登ってたどり着いた三本松で集合写真を撮影し、バスの中でお弁当を食べた後は、草原と湿原で成り立っている戦場ヶ原をハイキングしました。カッコウの鳴き声、風が木々を渡る音を聞きながら自然を満喫しました。ゴールの湯滝に着いた時は、さすがに疲れた様子でした。

豪華な夕食をおいしくいただいた後は、伝統工芸のふくべ細工にチャレンジ。様々な形のふくべ(かんぴょうの実)に思い思いの顔やイラストを描きました。そして、待ちに待った部屋での活動です。夜は長い! なかなか寝ない元気な子どもたちも、次第に声が聞こえなくなりました。



小杉放菴美術館見学

多くの芸術家たちの作品を見比べて、自分のお気に入りの描き方を見つけました。



ゴールの湯滝でパシャリ!

グループごとに戦場ヶ原の自然を満喫した後、ゴールの湯滝で写真を撮りました。



ふくべ細工体験

かんぴょうの実に思い思いの顔やイラストを描き、世界に一つだけのお面を作りました。

2日目の朝は、多目的ホールにて朝の集いを行い、部屋ごとに身支度を整えました。宿を出て最初に向かったのは、華厳の滝です。雨が降る中ではありましたが、迫力ある景色に子どもたちも圧倒された様子。華厳の滝を背景にクラス写真を撮りました。



東照宮見学

雨が降りしきる中、ガイドさんの話を真剣に聞きました。

修学旅行の合い言葉は「三狼(知ろう、作ろう、守ろう)」。みんなで協力し、自然や歴史に触れ、学習を深め、友情を深め、2日間、共に行動する中で、今まで見えなかったお互いの良さを知ることができました。修学旅行の経験を、今後の学校生活に活かしていきたいです。また、子どもたちの可能性を、引き出していきたいです。心に残る2日間となりました。

いろは坂を下って東照宮へ向かいます。実物を見るのをとても楽しみにしていました。「三猿は?」「あっ!小っちゃい!」「どこ?」「写真と同じだ。」陽明門、眠り猫、家康の墓など、見るものがいっぱいで大忙しです。雨の中ずぶぬれになりながらも、一生懸命ガイドさんの話を真剣に聞いていました。広大な境内は階段や砂利道が多く、たくさん歩いてくたくたになりました。

お昼のカレーで元気を取り戻し、家族や自分へのお土産を選んで帰路につきました。



カレーで回復!

東照宮を見学した後は、カレーで回復。3000円をやりくりしてお土産を買い、帰路につきました。